

平成 30 年度総合計画審議会 議事録（要点）

■日 時 平成 30 年 7 月 3 日（火）19：00～20：50

■場 所 御嵩町役場本庁舎 2 階 第 1 委員会室

■出席者 審議会委員（敬称略、50 音順）11 名

安藤信治（御嵩町議会議員）、大沢まり子（御嵩町議会議員）、
 鍵谷幸男（御嵩町農業委員会）、重政伸司（御嵩町金融協会）、
 鈴木元八（御嵩町観光協会）、須田俊幸（御嵩町民生委員児童委員協議会）、
 中島康貴（御嵩町子ども会育成協議会）、平井繁幸（御嵩町商工会）
 益川浩一（岐阜大学地域協学センター）、水野耕治（みたけ地域活性化委員会）、
 渡邊剛（御嵩町教育委員会）

事務局 6 名

伊左次一郎（総務部長）、長屋史明（企画調整担当参事）、
 小木曾昌文（企画課長）、日比野克彦（企画調整係長）
 澤田勇介（企画調整係員）、丹羽英仁（企画調整係員）

■議事録（要点）

○開会あいさつ	
企画課長	===== 配布資料の確認 ===== 開催にあたりまして総務部長の伊左次よりご挨拶申し上げます。
総務部長	急に暑くなり飛騨川上流部の大雨、ドクターヘリの出動があり、当町でも天候が心配される。 本日は第五次総合計画の平成 29 年度の実績を報告させていただき、評価をお願いしたい。
○委員及び事務局紹介	
企画課長	===== 委員及び事務局の紹介 =====
○議事	
企画課長	ただいまから議事に入らせていただきます。 本日は 11 名全員出席で本会議は成立しております。 会議の議長には規定によりまして会長に務めていただくこととなっておりますので、益川会長よろしくお願い致します。

益川会長	平成 29 年度実績を中心にご審議いただき、忌憚のないご意見をいただきながら円滑に進行を務めて参りますので、ご協力よろしくお願い致します。それでは、「平成 29 年度の実績報告」について事務局から説明をお願いします。
・ 議題 1 第五次総合計画平成 29 年度実績報告について	
企画調整 係長	<p>=====</p> <p>事務局説明</p> <p>=====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1にて C 評価となった健康づくり推進員については制度概要、C 評価となった理由、課題について補足説明。 ・ 資料 2にて昨年度よりも実績値が悪化した項目、大きく伸びた項目については要因を補足説明。
益川会長	平成 29 年度実績について、 資料 1 については概ね A～B で計画どおりに進んでいる項目が多く、一つだけ C がついたという報告であった。また 資料 2 については昨年度を下回った項目がいくつかある一方、目標値を超えている項目、着実に伸びている項目もあるという報告であった。報告を踏まえ資料に対する質問や感想、計画を進捗させるためのアイデア等、自由に発言していただきたい。
水野委員	可児市ではさつきバスが土日も運行してラスパ御嵩に乗り入れているようである。御嵩町においても土日運行すればどれだけふれあい予約バスの利用者数の増が見込めるか検討しているか。
企画調整 係長	土日の運行については多くの声を頂いているが、まずは平日の利用を伸ばすことが課題であると考えている。現時点では土日の運行に取り組むことは難しいと認識しているのでご了承いただきたい。
須田委員	民生委員の立場で高齢者と接していると高齢者は足の確保に悩んでいると感じる。ふれあい予約バスはバス停が遠い等、使い勝手が悪い。役場の事情も分かるが、住民からは行きたいときに行きたい場所に気楽に行けることが求められている。
企画課長	ふれあいバス、予約バスは合計で 4 路線あり、利用状況の精査が必要と考えている。行きたいときに行きたい場所に行けるということが理想だが、タクシー業者や田舎ならではの助け合い、乗り合いもある中で公共交通の位置づけ、あり方を議論していく必要があると考えている。

須田委員	行政の言い分も分かるが、高齢者は遊びのためではなく買い物等、日常生活の足で困っている。地域の支え合いが芽生えつつあることも理解しているが、もっと気楽に、もっと簡単にという願いを持っていることを理解してほしい。
益川会長	まずは現状の把握が大切になる。議論の中で「行政の役割がどこまでなのか」ということは大きな課題。生活に関わる移動で困っているという高齢者の声があるというのは真摯に受け止めて、行政の支援、果たす役割について今後も議論していただければと思う。
鈴木委員	資料1はどのように評価しているのか。行政は予算を持っている。費用対効果の面から考えると違う結果にならないか。評価の根拠はあるのか。
企画調整係長	基本的に資料1については取組内容と効果の観点から評価している。費用対効果の面は、決算の審査、3ヵ年実施計画の審査において評価しているので今回の評価では深くは考慮せず。取組内容が総合計画を推進するものであるかどうかという点での評価としている。
鈴木委員	<p>行政はフィーリングだけでなく、ある程度は費用対効果について説明できたほうがよい。強く掘り下げて無理無駄をどれだけ省けたのか、今後は枝を分けての説明が望まれる。</p> <p>各自治体で自治会離れが進んでいる。住民の声をどのように吸い上げていくかということも考えると、よい方法が見いだせるのではないかと。せっかくの資料だが、費用対効果、無理無駄、平成30年度の取組予定にも答えられるようにするとよい。</p>
益川会長	<p>行政の評価は難しい面があるが、費用に見合う効果を目指していくことは大切。一方、費用対効果を度外視しても住民福祉のために実施する必要がある事業も当然あるので、複眼的に捉えて行政としての方針を出していくことが求められるという指摘だと受け取った。非常に重要な視点。</p> <p>また、数値の成果も出てきますが数値だけでは測れない効果もある。アウトプットだけでなくアウトカムについても本来的な効果が表れている場合がある。それらを総合的に捉えて行政活動を行っていくことが重要であると思われるので今後に変参考になる本質的な意見であったと思う。</p>
水野委員	可児漁業組合の委員をしているが、魚もいないため可児川に遊びに行こうとは思わない。こんな川にしたのは誰なんだろう。行政に一度聞いてみたいと思っていた。
企画課長	水質調査は住民環境課で実施しており、数値としては悪くないと聞いてい

	<p>る。水辺をどのように整えていくのかという点については総合計画にも入れていますので担当課に意見を伝える。</p>
水野委員	<p>可児市は市役所の庁舎の裏に水辺で遊べる施設がある。御嵩町も水辺で遊べる公園があれば、御嵩町民が水辺に親しむことができるようになると思う。</p>
総務部長	<p>町民が河川に近づけない、また、ゴミや繁茂した草木等で近づきにくい状況にある。平成 22 年、23 年の集中豪雨を受け、可児川の管理者である岐阜県に浚渫、堤防の補強をしていただく際に中洲の活用について協議したこともあるが、費用面、せっかく整備しても中洲の公園は洪水時に損傷する可能性が高いことが懸念され、断念した経緯がある。</p> <p>また、子どもの興味も多様化し、魚釣りを教える大人も減っている中で費用対効果の面からも難しい現状にあると考えている。</p>
益川会長	<p>規制、費用、安全の問題があるため、子どもたちの学習や教育にも活用していければという考えはあるものの、なかなか難しいと理解した。しかし、カワゲラウォッチング等できる範囲で活用もしていただいております。今後とも水辺に親しむ環境づくりについて検討を進められることを期待している。</p>
重政委員	<p>防犯に関連して銀行は警察と不審電話等について情報共有をしているが、役場も警察と情報共有ができていますか。また、銀行窓口を不審者と遭遇した際の駆け込み場所として使ってもらうことが可能である。役場の取組み状況はどうか。</p>
渡邊委員	<p>通学中の子どもたちの安全については小中学校が一番心配していることである。防犯ブザーが主な対応になっているが、防犯ブザーを鳴らす暇があるのかという問題がある。金融機関の窓口が協力してもらえるとというのは大変ありがたい。これまでは自営業の方を中心とした民家をお願いをしていた。早速学校に周知していきたい。</p>
須田委員	<p>認知症の症状が見られる高齢者が十六銀行員の丁寧な説得によりオレオレ詐欺の被害から救っていただいたという事例を聞いている。この場を借りてお礼申し上げたい。</p>
企画調整係長	<p>役場でも「すぐメール」というシステムがあり、登録していただいた方には警察から受けた不審者情報等をメールでお知らせしている。</p>
総務部長	<p>「すぐメール」は子どもや高齢者にはすぐ届かないためご家族、学校と連携しながら安全を図ろうとするもの。</p>

益川会長	金融機関は誰もが知っている場所であり、安全な場所になるというのは大変よい発想だと思う。
総務部長	十六銀行では道路の方角を映した防犯カメラはあるか。
重政委員	外を映したカメラは今のところない。
総務部長	町は防犯カメラが犯人特定、犯罪抑止に大きな効果があると考えており、まだ検討段階だが、店舗を守るための防犯カメラで外が写るような角度のものがあれば協力を依頼できたらと考えている。
益川会長	防犯カメラの抑止効果は大変大きく、安全安心には予防が重要であり、尽くせる策は尽くしていくという考えは大変よい。子どもや高齢者を守るという点から町にとって重要な施策になる可能性もあると思う。
水野委員	行政の車両には車載カメラは付いているのか。
企画課長	すべてではありませんがほとんどの車両に付いている。
渡邊委員	御嵩町には2つの高校があり、役場近くの東濃高校には92人の外国人の生徒が学んでいる。取組みについては産学連携の観点から御嵩町役場にも力を入れて頂き、昨年度文部科学大臣から表彰された。岐阜県は外国人労働者が全国の中でも多く、全国で模範となる高等学校がある。日本の現状を考えると外国人も日本の未来を支える人材になるのではないかと。国籍や在住の問題もあり、難しいとは思いますが、高校卒業後も定着し、就職し、地元に入って生活していけるような方向性を検討するとよいのではないかと。外国人の子どもたちは年々増えており、可児市の中部中学校、蘇南中学校ではクラスが増えている。その子どもたちにとっては夢であるとも言われているので紹介した。
益川会長	国際交流都市的な取組みに繋がる可能性があるという大変貴重なご意見であると思う。関連して商工会の平井委員からご意見をお願いしたい。
平井委員	方向性4-3に新たな工業団地の計画を推進するとあるが、商工会としては御嵩町の活性化が一番の目標となる。そしてその中に企業が来てもらえれば、就職、定住に繋がり、人口減少対策にもなると考える。工業団地の計画は本当にあるのか。これ以上の開発はないとの考えか。 確かに企業は人材が欲しいばかりで、大企業と単価比較されると、地元の企業は人材の確保が難しい現状にある。しかし、子どもの選択肢を増やすことが

	<p>できるのであれば、企業の数が多い方がよいと考える。御嵩町の「しごとナビ」は大変よいと考えている。人材の流出を防ぎ、外から優秀な人材を引っ張れるような形を目指していければよいのではないか。</p>
総務部長	<p>環境モデル都市といえど、すべての環境を守ると言っているのは、企業誘致ができない。環境との住み分けについて検討し、住民の方に発信していく必要があると考えている。</p> <p>外国人の労働者については、介護の分野、また、複数の言語が使えるバイリンガルとしての活躍もあると理解している。企業誘致については大企業と中小企業では時間単価に格差があり、恵那市や瑞浪市の商工会も懸念していると聞いている。</p> <p>大企業は進出に際して人材が進出先で確保できるかということを重視しているとも聞いており、大企業が中小企業を圧迫する可能性があると考えられる。しかし、御嵩町にとって企業誘致は税収面、若者の流出防止のために必要であり、進めていく必要があると考えている。まずは環境を守る箇所、開発する箇所の検討が課題になる。</p>
企画課長	<p>キャリア教育の中で東濃高校生を中心に地元企業の実態を知ってもらいながら地元企業との交流を推進している。また、IT プログラミング人材育成事業の中では「しごとナビ」を作り、高校生が自ら町内の企業のことを知り、就職していく仕組みもある。町内の学生、町内に通学している学生の定住を進めていきたいと考えている。</p>
益川会長	<p>学生と企業の相互理解は進んでいるように見えて溝があり、また、学生は愛知県等の大企業に目が向きがちの部分があると思う。地元企業を知ることは地元定着の一步であるのかもしれない。地道に人材育成に取り組む一方で、企業誘致については環境との兼ね合いといった大きな視点も必要になる。広い視野で総合的な検討が必要になると考える。</p>
水野委員	<p>民泊が外国人旅行客を呼び込む手立てになると考えていたが、法令やニュースから御嵩町にはそぐわないのかもしれないとも思えてきている。どう考えているか。</p>
鈴木委員	<p>現状では難しいのではないかと。岐阜県が昇龍道を活用して県内で民泊や観光する計画を立てているようだが、交通システムの多様化により船での宿泊や日帰り、別の観光地への移動等、地域での民泊は形が変わっていくと考えている。民泊をやるのであれば、格段の特徴が必要なのではないかと。外国の方はそれほど施設にこだわらずシャワーくらいがあればよいと考える方もいると思うので、寝袋で素泊まりとか、そういう方向ならばおもしろいかもしれない</p>

	<p>い。町には観光について予算措置をしてもっと力を入れてもらいたい。工業団地については昔「工業クラブ」や「産業クラブ」があった。今は工業団地の各社と行政が意見交換する場がないのではないかな。商工会、行政、工業団地の各社が三位一体の対策がなければ置き去りにされてしまうのではないかな。企業誘致の奨励金を払っているのだから各社に町の発展について協力を依頼してスクラムを組んで進めてほしい。</p>
総務部長	<p>観光については観光基本計画にてインバウンドを狙った取組みも考えているが、町内でプレイヤーとなって活動してもらえ方を探ることが課題。地元でお金を使ってもらえるような観光体制の構築について検討する必要があると考えている。</p> <p>工業団地については連絡協議会があり、商工会にも参加して頂き、情報交換している。</p>
鍵谷委員	<p>資料についてはもっと大きな字にしてもらいたい。お互いわかりやすい、優しい資料で協議を行えたらよいと思う。</p> <p>また、総合計画で庁舎のことは一部でも触れないのか。庁舎建設は大きな話であり、審議会で審議するべきであると考えている。総合計画は10年間の計画であり、変更手続きが必要なのか。農業委員会としては町長から庁舎については3haの農振除外を行っていく予定がある、近々用地買収も始めると聞いた。3haの農地転用は御嵩町ではこれまでなかった。これだけ大規模な開発であれば町としても庁舎の周りの土地をどうしていくのかということについても検討する必要がある。庁舎に関連して他の審議会があるのかもしれないが、各組織の代表者が集まる場であり、経過の報告をしてもよいのではないかな。庁舎建設については町民の一番の関心事であり、自信を持って進めてほしいし、審議会の内容充実についても検討をお願いしたい。</p>
益川会長	<p>町の根幹を決める総合計画は変更が難しい一方、見直しや付足し、重要なことについては審議会で議論していくことが重要であるという審議会のスタンスに係る大変貴重な指摘だったと思う。</p>
中島委員	<p>伏見地区ではミニ開発が進んでいるが、自治会に入らない方もいる。「良好な環境を誇りとするまち」「みんなが支えあうまち」とは少し逆行してしまっていると思う。一方、「自然と調和した暮らしを提案して、御嵩町にやってくる移住者を受け入れます」と聞いてふさわしい場所だと思い浮かんだのは上之郷地区だった。上之郷地区はスーパーもなく人口も減少しているが、農泊施設ができた。流行っているキャンプを楽しむオシャレな若者が住む集落が作れるとおもしろいと思う。御嵩町、まちづくり会社「てらす」、建築会社と企画を練ることができたらよいと思う。</p>

大沢委員	<p>資料1について総合計画の施策の順番どおりに並べるようにしてほしい。</p> <p>人口減少の中では、御嵩町に住んでいただける方を増やすことを目指す必要がある。他の市町では移住する若い世代の固定資産税を減免する取組みを聞いたことがあるが、御嵩町は少し取組みが弱いと思う。上之郷に若い世代が住んでもらえるようにしていけるとよいと思う。</p>
安藤委員	<p>今後、総合計画の位置づけをどうしていくつもりなのか確認したい。</p>
企画課長	<p>総合計画は最上位の計画で、平成27年度には任意ではあるが、議会にも示しながら作成した。現在進めている計画の枠組みでやっていきたいと考えている。</p>
益川会長	<p>改めて最上位である総合計画の重要性を再認識した。だからこそ重要事項については総合計画に付足しを行うべきではないか。審議会においては重要事項の経過報告等がされるべきではないかという意見だと理解した。</p> <p>C 評価の施策については健康づくり推進員の位置づけやあり方が今後検討されるという形で了承されたということで良いか。今後とも推移について情報提供いただければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①バスの件 ②川辺や水辺の活用の件 ③予防の観点からの安全安心の件 ④外国をルーツに持つ学生の就職、地元定着を含めた支援の件 ⑤企業誘致の件 ⑥若者のキャリア教育の件 ⑦工業団地の件（各団体、行政、企業の横の連携の充実） ⑧観光推進の件 ⑨若者の留まりの件 <p>など、幅広く貴重な意見が出た。</p> <p>事務局には本日の委員の意見を十分に留意し、総合計画を推進し、よりよい町政を目指していただきたい。</p> <p>平成30年度第1回御嵩町第五次総合計画審議会の議事を終了する。事務局に議事進行を戻す。</p>
○閉会あいさつ	
企画調整 担当参事	<p>本日は昨年度の実績報告のほか、総合計画審議会のあり方についても貴重なご意見をいただきありがたい。今年度の事業の実施、来年度以降の計画に参考としたい。</p>